

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(17年5月分)

1. 調査実施期間 平成17年 4月20日 ~ 5月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

5月分の回答企業数は32社、回収率は66.7%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight.D.I.

		17/5月	6月	7月
仕入動向	国産材	7.7	7.7	15.4
	外材	4.8	0.0	8.1
販売動向	国産材	9.6	9.6	9.6
	外材	11.7	5.0	0.0
在庫動向	国産材	1.9	13.0	7.7
	外材	1.7	10.3	1.7

仕入れは、6~7月と国産材のマイナス幅がいきなり大きくなった。外材についても6月のゼロから7月マイナスへと消極的な傾向である。

販売は、国産材はほぼ同一のマイナス幅で安定している。外材は堅調なプラス推移も7月はゼロと弱含みである。

在庫は、国産材、外材とも引き続きマイナス基調であるが5月の国産材のプラスから6月のマイナスと大幅な変化が一部みられる。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight.D.I.

品目	17/5月	6月	7月
スギ正角(グリーン)	7.1	0.0	2.4
スギ正角(KD)	7.5	2.5	2.5
ヒノキ正角	14.3	7.1	2.4
ヒノキ土台角	15.0	7.5	5.0
米ツガ正角(現地挽)	2.5	2.5	0.0
米ツガ防腐土台角	2.4	2.4	0.0
米ツガ割物(現地挽)	2.6	0.0	2.6
米マツ平角	13.9	5.6	2.8
北洋アカマツタルキ(現地挽)	14.7	2.9	3.1
ホワイトウッド集成管柱	11.8	11.8	0.0
レッドウッド集成平角	0.0	2.9	2.9
型枠合板(国産)	13.3	6.7	3.3
型枠合板(輸入)	8.8	5.9	5.9
針葉樹合板	12.5	3.1	6.3

スギ構造材は6月のゼロ・プラスから7月のマイナスと回復は足踏みがみられる。

ヒノキは着実にマイナス幅を縮め、米ツガの正角、土台角等はマイナスからプラスへ好転している。

米マツ平角はマイナス推移だが、幅は小さくなり明るさが出ている。北洋アカマツタルキ(現地挽)はマイナス幅小さく安定的な推移である。

WW集成管柱、RW集成平角及び合板は、6~7月プラス基調推移だが、WW集成管柱が7月にいきなりゼロに縮小したことは注目される。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

1. 荷動き

単位: %

品目		17/5月	6月	7月	
仕入動向	国産材	増加	0.0	3.8	0.0
		やや増加	11.5	3.8	0.0
		横ばい	61.5	65.4	69.2
		やや減少	26.9	26.9	30.8
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	3.2	3.2	0.0
		やや増加	16.1	16.1	6.5
		横ばい	48.4	58.1	71.0
		やや減少	32.3	22.6	22.6
		減少	0.0	0.0	0.0
販売動向	国産材	増加	7.7	3.8	0.0
		やや増加	7.7	7.7	3.8
		横ばい	42.3	53.8	73.1
		やや減少	42.3	34.6	23.1
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	3.3	3.3	0.0
		やや増加	16.7	20.0	10.0
		横ばい	33.3	60.0	80.0
		やや減少	46.7	16.7	10.0
		減少	0.0	0.0	0.0
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	22.2	0.0	0.0
		横ばい	59.3	77.8	84.6
		やや減少	18.5	18.5	15.4
		減少	0.0	3.7	0.0
	外材	増加	3.3	0.0	0.0
		やや増加	13.3	3.4	6.9
		横ばい	60.0	75.9	82.8
		やや減少	23.3	17.2	10.3
		減少	0.0	3.4	0.0

2. 価格動向

品目		17/5月	6月	7月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	4.8	0.0
	横ばい	85.7	90.5	95.2
	やや下落	14.3	4.8	4.8
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	5.0	0.0
	横ばい	85.0	95.0	95.0
	やや下落	15.0	0.0	5.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	76.2	90.5	95.2
	やや下落	19.0	4.8	4.8
	下落	4.8	4.8	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	70.0	85.0	90.0
	やや下落	30.0	15.0	10.0
	下落	0.0	0.0	0.0

品目		17/5月	6月	7月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	5.0	0.0	0.0
	横ばい	85.0	95.0	95.0
	やや下落	10.0	5.0	5.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	4.8
	横ばい	95.2	95.2	90.5
	やや下落	4.8	4.8	4.8
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	5.3	10.5
	横ばい	94.7	89.5	84.2
	やや下落	5.3	5.3	5.3
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	72.2	88.9	94.4
	やや下落	27.8	11.1	5.6
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	5.9	0.0
	横ばい	70.6	82.4	93.8
	やや下落	29.4	11.8	6.3
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	5.9	5.9	0.0
	やや上昇	23.5	17.6	5.9
	横ばい	58.8	70.6	88.2
	やや下落	11.8	5.9	5.9
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	5.9	11.8	11.8
	横ばい	88.2	82.4	82.4
	やや下落	5.9	5.9	5.9
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	20.0	6.7
	横ばい	73.3	73.3	93.3
	やや下落	26.7	6.7	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	11.8	11.8	11.8
	横ばい	64.7	88.2	88.2
	やや下落	17.6	0.0	0.0
	下落	5.9	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	6.3	6.3	12.5
	横ばい	62.5	93.8	87.5
	やや下落	31.3	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

南洋材全般的に産地高だが、国内販売に転嫁できず、在庫量が減少しても新規調達は厳しい状況。(東京:問屋)

北米産(上級品)市況は、インディアンのロックアウトの影響から大幅な出材減が続き強含みである。国内市況は相変わらずほぼ横ばいの推移が続いている。(東京:問屋)

国産材は暗中模索、先行きは手探り状態。依然本調子にはなれず、格差拡大中。(東京:問屋)

相変わらず動きが悪いが、プレカットは大変忙しい。米材の入荷に関しては、先が読みづらくわからない。(東海:問屋)

この荷動きの悪い状態は梅雨明けまで続きそう。(東海:問屋)

4月は過去最悪の動きでした。先の見通しも立たず、在庫できない状態。当用買いのその日暮らしが続きそう。(東海:問屋)

工務店との取引きと併せて、エンドユーザーとの関りを強めていくことが重要と強く認識し、エンドユーザー指向へ移行する決断をしました。(東京:仲買小売)

5月の連休期間も終了し、若干の荷動きが見られる。(東京:小売)

6月に木造新築の予定が久しぶりに有り、期待しているのだが、現在の荷動きは若干停滞(東京:小売)

特に価格変化は見当たりません。(東京:小売)

針葉樹合板は底値が出て安値が止まった。取引きする工務店は「多忙」と「閑」に二極分化して固定してきている。(東京:小売)